

◎ 3年生 | 「こん虫をしらべよう」 | 発展

モンシロチョウ vs ダンゴムシ

ダンゴムシは昆虫でしょうか。

昆虫ではありません。昆虫はからだを頭・胸・腹の3つの部分からできています。足は6本胸についています。ところが、ダンゴムシの足は14本あります。からだは、頭部・胸部・腹部・尾部の4つからできています。実は、ダンゴムシはカニやエビの仲間であらね類なのです。そのため、からだの水分がぬけないように、殻でからだを守っています。色が濃く背中に模様のないのがオス、色が薄くて模様のあるのがメスです。ダンゴムシとワラジムシを混同してしまう児童がありますが、ワラジムシはからだを丸めることができません。

モンシロチョウはキャベツや大根などの葉にたまごをうみますが、ダンゴムシのメスは、自分のおなかの中にある袋にたまごをうみます。袋の中で孵化して、ダンゴムシの姿でワラワラと出てきます。

チョウのよう虫もダンゴムシも脱皮を繰り返して大きくなります。両者とも、脱皮殻は食べてしまいます。

ダンゴムシは土作りの名人でもあります。最初に入れた落ち葉の枚数や大きさを記録して観察を続けていくと、落ち葉を分解する様子がわかります。

「日本ダンゴムシ協会」のホームページ (<http://homepage2.nifty.com/e-mon/dango/>) や、「やあ！出会えたね ダンゴムシ」(今村光彦著 アリス館発行)の本は、ダンゴムシを観察する上で参考になります。

モンシロチョウと比較しながらダンゴムシを観察し、差異点や共通点に気づくことで、学習内容を深めたり広げたりすることができます。身の回りの生き物への興味・関心や知的好奇心を高めることにより、小さな命への愛情も育むことができるのです。

授業お役立ちシート

モンシロチョウ vs ダンゴムシ

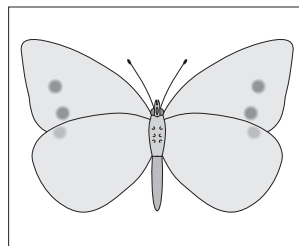
名前 ()

*下の表を完成させましょう。
(○×や数字を記入する。)

	モンシロチョウ	ダンゴムシ
葉にたまごをうむ		
皮をぬいで大きくなる	よう虫	
ぬいだ皮を食べてしまう	よう虫	
さなぎになる		
からだの部分の数		
足の数		
こん虫である		

*足を書いてみましょう。

モンシロチョウ



ダンゴムシ

